

事務事業名		一般廃棄物最終処分場管理事業		会計	一般会計						
事業種別		経常		開始	20	終了	40				
課等名	環境課	係等名	処分場施設係								
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり								
	施策	56	廃棄物の減量と適正処理								
目的	対象(誰・何を)	・市内で発生する家庭系一般廃棄物(不燃性埋立ごみ、し尿等汚泥焼却灰、焼却残渣)			指標名及び単位			24年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	最終処分場の適正な管理を行う			年間埋立廃棄物量 t(単年度)			2626.8			
	向上させたい上位施策の成果指標	成果指標:①ごみの収集量(家庭系一般廃棄物)(t)			最終処分場計画流入水質(設計基準BOD値250mg/L)			250			
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	埋立総容量(総埋立廃棄物量+総覆土量) m ³ (累計)			24539	22557	31532	45543			
	成果指標	水質検査放流水BOD値(1回/月検査し、最大値を排出基準60mg/L以下とする)			60	8.3	60	60			
	定性目標										
事業概要	飯田市最終処分場において、廃棄物の円滑な受入と適正な処理を行い、環境に配慮した河川放流を行うため浸出水処理施設の適正な管理を行う H25に旧最終処分場管理事業を統合する										
事業内容				名称				活動指標			
24年度事業内容	最終処分場の運営、整備、維持及び埋立量管理			1 埋立量			1 容量 4,023 m ³				
	1 埋立ごみの減量化を図る			2 資源化量			2 重量 54t				
	2 埋立ごみに含まれる資源物の分別を行う			3 放流・地下水の検査回数			3 回数 12回(毎月1回)				
	3 最終処分場の浸出水処理施設の適正な委託管理			4 公開回数			4 回数 12回(毎月更新)				
	4 埋立量及び水質検査結果のホームページでの情報公開			5 実施回数			5 回数 4回				
	5 周辺環境整備										
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		45,461	49,806	47,494	69,806	特定財源： (そ)最終処分場搬入ごみ処理手数料(2,721)ほか雑入(332)=(3,053千円) ごみ処理手数料(証紙収入)から(13,009千円)					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		16,517	15,831	16,062	13,615						
一般財源		28,944	33,975	31,432	56,191						
人件費計(千円)②		2,503		6,437							
正規職員所要時間		700		1,800							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		47,964	49,806	53,931	69,806						
事業内容・目標達成状況の振り返り	・実績埋立累計総容積量 22,557 m ³ / 計画埋立累計総容積量 24,539 m ³ ≒92% 計画より約8%埋立量が抑制できていることにより、延命化の目標はクリアしている。運営管理においても、事故無く、排出水水質も基準をクリアしている。地元との連絡協議会において問題解決を図り、円満良好な関係を維持できている。機器の修繕費用が経年により増加している。										
改革改善の考え方	①問題点	施設全体の無事故運営及び放流水質の基準以下維持。埋立量の減容による延命化。維持管理費の経年増									
	②改革提案	埋立状況に合わせて事業目的指標の累積容量を残容量及び供用可能残年数とし、水質管理目標値を現状を踏まえた管理値にする。施設等の維持管理中長期計画の策定及びコスト削減。旧処分場管理費の統合。									